

# じどうとしよしつだより



No. 106(2019. 1)

よんでみませんか 児童図書室がえらんだ本

## ソフィーとちいさなおともだち

パット・ジトロー・ミラー／文 アン・ウィルズドルフ／絵  
二宮 由紀子／訳  
光村教育図書 2018.8 (資料ID: 1111551799)

ある秋の日、ファーマーズ・マーケットで、夕ご飯に食べるかぼちゃを、パパとママは、ソフィーに選んでもらうことにしました。でも、ソフィーが選んだのは、ソフィーがだっこするのにぴったりの大きさと形をしたかぼちゃ。ソフィーはすっかり気に入って、かぼちゃにバーニスという名前をつけて可愛がりますが…。命のつながりを教えてくれる絵本です。ゴールデン・カイト賞受賞作。

## うずらかあさんとたまご

島野 雫／さく・え  
教育画劇 2018.9 (資料ID: 1111557907)

産んだばかりの大切なたまごが転がって行ってしまい、うずらかあさんは困ってしまいます。そんな彼女に「なにがかさがしているの?」と親切に声をかけてくれたのはヘビ、カラス、オオカミ。ありがたいけれど、三匹がこわくて、たまごを探していると正直に言えません…。しかし、三匹はうずらかあさんの力になろうといっしょうけんめいたまごを探します。三匹の思いやりに心があたたかくなる優しい絵本です。

## こすずめとゆき

深山 さくら／文 黒井 健／絵  
佼成出版社 2018.10 (資料ID: 1111571076)

さむい冬の夜、木の洞の中でかあさんすずめと眠っていたすずめのぼうや。しゃらしゃらと聞きなれない音に、ふと目を覚ましました。外を見ると、空から何か白いものがふわふわと落ちてきます。「おかあちゃん、あれ、なんだろう?」初めて見た雪への驚き、厳しい寒さの中にも寄り添って静かにやりとりをする親子のぬくもりを感じさせる絵本です。絵からもほっこりとした温かみが伝わってきます。

## わたしたちだけのときは

デイヴィッド・アレキサンダー・ロバートソン／文  
ジュリー・フレット／絵 横山 和江／訳  
岩波書店 2018.9 (資料ID: 1111560199)

おばあちゃんは子どもの頃、家から遠く離れた学校に行くことになりました。学校では、さびしい色の制服を着せられ、髪を切られ、自分の言葉で話すことを禁じられました。「どうしてなの? おばあちゃん」カナダの先住民族の人々が、かって受けていた差別の歴史と、子どもたちのいじらしい抵抗について、おばあちゃんが孫娘に語ります。

## めぐる森の物語

いまい あやの／作  
BL出版 2018.10 (資料ID: 1111566361)

ある日、野ウサギがかけていくのを目にし、その後を追いかけたぼく。ウサギは荒地にたどりつくと、ドングリをうめはじめました。ウサギが去った後、今度は鳥やクマ、リスや昆虫たちが次々とやってきて、木の実や種を地面にうめはじめます。しばらく動物たちの様子を見ていたぼくは眠くなってしまい、やがて目が覚めるとそこは…。めぐるいのちについて考える物語です。

## そらからきたこいし

しおたに まみこ／[作]  
借成社 2018.9 (資料ID: 1111561697)

ある夜、ハナが外をながめていると、突然目の前を光がとおりすぎ、庭の方へ落ちました。翌朝、ハナは庭先で、宙に浮かぶ不思議な小石を見つけます。そこで、図書館へ行って調べてみましたが、どの本にも、浮かぶ石について書かれていませんでした。ハナは夜空を観察し、その小石が空から降ってくることを知ります…。木炭と鉛筆による黒色の濃淡の絵に、薄い青色を使って、静かで不思議な世界を表現しています。

## あめだま

ペク ヒナ／作  
長谷川 義史／訳  
ブロンズ新社 2018.8  
(資料ID: 1111554431)

## キツネのはじめてのふゆ

マリオン・デー・パウアー／作  
リチャード・ジョーンズ／絵  
横山 和江／訳  
鈴木出版 2018.10  
(資料ID: 1111568179)

## かどこいった?

鈴木 のりたけ／作・絵  
小学館 2018.11  
(資料ID: 1111578531)

## 風のぼうけん

曹 文軒／文  
アレクサンダー・ゾロティッチ／絵  
いわや きくこ／訳  
樹立社 2018.10  
(資料ID: 1111574505)